

令和5年度  
西宮市乳幼児健康診査検討会 会議録（要約）

日時：令和6年2月2日（金） 13時45分～15時

会場：中央保健福祉センター2階 大研修室

出席者：【西宮市医師会】 芦田 乃介、高橋 千晶、奥窪 明子、今泉 正徳、宮光 世裕

【西宮市歯科医師会】 鷹取 規子

【学識経験者】 下村 英毅

【西宮市】 麻生 和良、福田 典子

【事務局】

保健所副所長：園田 敏文

地域保健課：浦岡 由紀（課長）、中東 初美（担当課長）、齊藤 美和、松田 有香、  
杉森 佐智子、浅原 康子、北原 綾、福田 絹、岡田 ユリカ、清水 志保、  
村田 美紗、大野 有紀子、三神 緑、森 英里奈、洲崎 紘子、河原 玲奈、  
大道 友貴、伊東 千尋

健康増進課：福永 祐子

1. 開会挨拶

2. 会員、事務局職員の紹介

名簿参照。兵庫医科大学病院について、田中会員から下村会員へ変更。

山田会長が欠席のため、芦田会員が代理出席。

3. 報告・意見交換 <議事進行：芦田会員>

(1) 令和4年度 乳幼児健康診査実施報告

○事務局

- ・各乳幼児健康診査の対象者数・受診者数・受診率・実施回数について報告する。
- ・医師診察結果内訳・医師所見・要精密検査の結果・継続支援状況等について報告する。
- ・乳幼児健康診査未受診児の対象者・把握数・把握方法内訳・結果内訳等について報告する。
- ・健やか親子21問診項目の集計結果について報告する。

○会員

芦田医師：4か月児健診では、受診率が99%を超えており良かった。対象者数が3,397名、受診者数が3,382名とのことだが、未受診者数は15名で間違いはないか。

○事務局

対象者数は4か月児健診の案内を発送した数であり、受診者数は実際に健診を受診した数を指している。未受診児調査では、健診の案内を発送した後に西宮市へ転入し、西宮市で健診を受けていない児も含めているため、対象者数から受診者数を引いた数と未受診児調査の対象者数に相違

がある。4か月児健診においては、生後8か月になる月に西宮市に住民票があり、西宮市で4か月児健診を受診していない児を調査対象としている。

(2) 令和4年度 療育機関への紹介数と受診結果

○事務局

- ・療育機関への紹介数と受診結果について報告する。

○会員

質疑なし

(3) 令和5年度 乳幼児健康診査実施状況

○事務局

- ・対象者数・受診者数・受診率について報告する。

○会員

質疑なし

(4) 市民からの意見等

○事務局

- ・市民からの意見等を4件紹介。  
(時間の都合上1件のみ口頭にて報告、残り3件については書面報告。)

○会員

芦田医師：報告があった4件以外に市民から意見はあったか。

○事務局

診察場面については4件のみであった。その他には健診出務者の対応に関するもの等があった。

(5) 4か月児健康診査 集団健診再開後の実施報告

○事務局

- ・4か月児健診における集団健診再開後の実施状況について報告する。
- ・4か月児健診時に開排制限の所見があり股関節脱臼の診断を受けた保護者より早期発見・早期治療につなげるために、精密検査が必要な場合はエコー検査ができる医療機関を紹介してほしいとご意見があった。整形外科を紹介する場合は「精密検査が可能な西宮市内の整形外科医療機関一覧」を保護者へ配布しているが、保護者への案内方法等についてご意見を伺いたい。

○会員

芦田医師：すこやか親子21における虐待に関する項目について、経年的に大きな変化はなかったとの結果から個別健診時に虐待事案を見落としているということはないようで良かった。

宮光医師：エコー検査ができる医療機関は整形外科医療機関一覧を基に紹介したので良いと思われる。但し、先天性股関節脱臼の診断のためのエコー検査を実施できない医療機関もあるため、受診前に保護者から医療機関へ確認してもらうほうが良い。

芦田医師：先天性股関節脱臼のエコー検査が可能であるか整形外科医会で確認していただくことは可能か。

○事務局

事務局：医療機関一覧は地域保健課が整形外科医療機関へアンケートを送付し、エコー検査が可能か確認し作成したものである。

○会員

福田所長：一覧表の作成にあたり、先天性股関節脱臼のエコー検査が可能であるか確認したか。

○事務局

エコー検査ができて股関節の検査ができない場合があることを今知ったので、調査時点では股関節の検査が可能かまでは確認していない。事務局から医療機関へ再度確認を行う。

○会員

麻生医師：こども未来センターの受診までに時間がかかるとよく聞かすが、健診においてこども未来センターへ紹介状を発行した場合、受診までの期間はどの程度か。

○事務局

市のホームページにて待機期間を随時掲載しており、健診において紹介となった場合も同程度の待機期間となる。こども未来センターの待機期間中も状況確認やフォローは継続している。

○会員

鷹取医師：3歳児健診におけるう蝕有病率は低下しているが、鳴尾地区及び北部地区において高い傾向があるため、今後もフォローを行っていききたい。

芦田医師：スポットビジョンスクリーナーの導入により、眼科医療機関の受診者に変化はあったか。

今泉医師：現時点でデータはないが、今後評価していききたい。

奥窪医師：小児科診察にて要精査となり、耳鼻科にて構音障害等の診断がされていることから適切に医療につながっていると感じた。

#### 4. 確認・連絡事項

##### (1) 令和6年度 乳幼児健康診査について

○事務局

- ・令和6年度の実施日程について説明する。

○会員

質疑なし

(2) 成育医療等基本方針に基づく問診項目の変更について

○事務局

- ・成育医療等基本方針に基づく問診項目の変更について説明する。

○会員

質疑なし

5. 閉会挨拶

以 上